

平成 26 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問合せ先 取締役コーポレート・コミュニケーション室長
兼 経営企画室長 加藤 勝哉
(電話 03-6838-2803)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期業績結果について

当第2四半期の医療用医薬品市場は、本年4月に診療報酬と薬価の改定があり、4月からの消費税増税分を含め薬価ベースで平均2.65%（税抜き5.64%）の薬価引下げが行われました。また、診療報酬改定ではジェネリック医薬品の使用が一層促進され、長期収載品の売上の落ち込みが想定以上となりました。加えて消費税増税にともなう駆け込み需要の反動、消費税増税や天候不順による受診抑制が重なり、前期比3.4%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）のマイナスとなりました。

このような状況のもと当社グループの医薬品卸売事業においては、長期収載品からジェネリック医薬品へのカテゴリーチェンジが想定以上に進んだ影響等もあり、売上高が予想を大きく下回りました。利益面では付加価値サービス型モデルへの変革に向けたフィービジネスによる利益は安定的に確保できたものの、物流センターやコールセンターを活用した営業と物流の一体改革は着実に効果を発揮しつつありますが、事業の効率化による経費削減を期間内で達成することができませんでした。調剤薬局事業においては、調剤報酬の改定に対応した店舗経営と収益性改善策に取り組みましたが、新規出店費用や薬剤師の採用費用の増加、店舗業務の標準化や本部への集約による省力化の遅れにより費用が先行しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 560,916 百万円（前年同期比 3.2%減）、営業利益は 2,622 百万円（前年同期比 50.5%減）、経常利益は 5,558 百万円（前年同期比 33.7%減）、四半期純利益は 3,019 百万円（前年同期比 38.6%減）となりました。

また、上述の市場環境の変化による売上高の予想数値の達成が難しい状況であることに加え、販管費の削減効果の一部が平成 28 年 3 月期以降に後ろ倒しとなる見込みであるため平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました通期業績予想を以下のとおり修正いたしました。

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期業績（連結）

(1) 前年同期比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第 2 四半期	560,916	2,622	5,558	3,019
前第 2 四半期	579,175	5,298	8,387	4,914
前年同期比増減額	△18,259	△2,675	△2,829	△1,895
前年同期比 (%)	△3.2	△50.5	△33.7	△38.6

(2) 第 2 四半期累計業績予想比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第 2 四半期累計期間実績	560,916	2,622	5,558	3,019
当第 2 四半期累計期間 修正後業績予想	560,000	2,600	5,500	3,000
当第 2 四半期累計期間 当初業績予想	594,000	6,500	9,400	5,800
当初業績予想達成率 (%)	94.4	40.3	59.1	52.1

2. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想の修正

平成 26 年 11 月 6 日付で平成 26 年 5 月 9 日に公表した通期業績予想の修正をしております。

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
修正後通期業績予想	1,161,000	8,900	14,500	11,700
当初通期業績予想	1,221,000	15,600	21,100	12,700
増減額	△60,000	△6,700	△6,600	△1,000

3. 修正後通期業績予想に対する進捗率について

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
当第 2 四半期	560,916	2,622	5,558	3,019
修正後通期業績予想	1,161,000	8,900	14,500	11,700
修正後通期業績予想比 (%)	48.3	29.5	38.3	25.8

以上